



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月14日

上場会社名 アジアクエスト株式会社 上場取引所 東
コード番号 4261 URL <https://www.asia-quest.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 桃井 純
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 外谷 悠一郎（TEL）03-6261-2701
半期報告書提出予定日 2024年8月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	1,858	26.3	211	51.3	218	56.3	143	57.1
2023年12月期中間期	1,471	18.5	139	△27.1	139	△28.2	91	△29.6

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 138百万円 (39.9%) 2023年12月期中間期 98百万円 (△26.9%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	97.69	96.78
2023年12月期中間期	62.21	61.63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	2,376	1,536	64.6
2023年12月期	2,262	1,397	61.8

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 1,536百万円 2023年12月期 1,397百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,022	28.1	401	29.3	398	29.4	266	34.0	181.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期中間期	1,469,600株	2023年12月期	1,469,600株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	107株	2023年12月期	78株
③ 期中平均株式数(中間期)	2024年12月期中間期	1,469,509株	2023年12月期中間期	1,468,751株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気は緩やかに回復しております。一方、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります、先行き不透明な状態であります。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、ビジネスモデルの変革や新規ビジネスを創出するためにデジタル技術を活用するデジタルトランスフォーメーション(DX)の流れが引き続き力強いものとなっており、あらゆる産業において、企業の競争力強化のためのIT投資は全体として底堅く推移しました。

このような環境の中、当社はお客様のデジタルトランスフォーメーションを支援するデジタルインテグレーターとして、お客様のデジタルトランスフォーメーションを共に考えるコンサルティングから、必要なデジタル技術を駆使したシステムの設計、開発、運用までの一貫したソリューションを具体的に提案することに引き続き努めました。また、採用活動等のデジタル人材確保に向けた取組みを積極的に推進しました。底堅いIT活用やデジタル化需要等を背景に、安定して事業を継続・拡大することができました。

その結果、当中間連結会計期間の経営成績につきましては、売上高は1,858,334千円(前中間連結会計期間比26.3%増)、営業利益は211,093千円(前中間連結会計期間比51.3%増)、経常利益は218,713千円(前中間連結会計期間比56.3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は143,557千円(前中間連結会計期間比57.1%増)となりました。

なお、当社グループはデジタルトランスフォーメーション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて62,921千円減少し、2,060,319千円となりました。これは主に、借入の返済等により現金及び預金が79,091千円減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて177,059千円増加し、316,329千円となりました。これは主に、オフィス拡充に伴う敷金差し入れ等により投資その他の資産が171,225千円増加したことによるものであります。

以上の結果、当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べて114,138千円増加し、2,376,648千円となりました。

(負債)

当中間連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて86,037千円増加し、685,369千円となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益の増加により未払法人税等が40,196千円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて110,149千円減少し、155,158千円となりました。これは主に、借入金の返済進捗に伴い長期借入金が111,641千円減少したことによるものであります。

以上の結果、当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べて24,111千円減少し、840,528千円となりました。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて138,250千円増加し、1,536,120千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益の計上等により利益剰余金が143,557千円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ79,091千円減少し、1,438,898千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、233,426千円の収入(前中間連結会計期間は67,201千円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益218,713千円等の資金の増加があった一方、法人税等の支払額47,178千円等の資金の減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、187,441千円の支出(前中間連結会計期間は18,985千円の支出)となりました。これは主に、オフィス拡充に伴う敷金差し入れ等のため、敷金の差入による支出160,863千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、129,170千円の支出(前中間連結会計期間は57,684千円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出127,692千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の業績予想につきましては、2024年2月13日の「2023年12月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

なお、当該業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,517,989	1,438,898
売掛金及び契約資産	545,556	557,553
仕掛品	1,554	1,155
原材料	678	958
その他	57,461	61,753
流動資産合計	2,123,240	2,060,319
固定資産		
有形固定資産	72,888	79,914
無形固定資産	5,179	3,986
投資その他の資産	61,202	232,427
固定資産合計	139,270	316,329
資産合計	2,262,510	2,376,648

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	57,722	62,027
1年内返済予定の長期借入金	63,936	47,885
未払金	162,175	178,130
未払法人税等	58,555	98,751
賞与引当金	54,136	65,570
受注損失引当金	4,077	1,984
その他	198,730	231,020
流動負債合計	599,332	685,369
固定負債		
長期借入金	259,551	147,910
退職給付に係る負債	5,756	7,248
固定負債合計	265,307	155,158
負債合計	864,639	840,528
純資産の部		
株主資本		
資本金	410,158	410,158
資本剰余金	362,162	362,162
利益剰余金	618,347	761,904
自己株式	△272	△370
株主資本合計	1,390,395	1,533,855
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	7,474	2,265
その他の包括利益累計額合計	7,474	2,265
純資産合計	1,397,870	1,536,120
負債純資産合計	2,262,510	2,376,648

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,471,710	1,858,334
売上原価	756,978	950,942
売上総利益	714,732	907,391
販売費及び一般管理費	575,246	696,298
営業利益	139,486	211,093
営業外収益		
受取利息	435	195
為替差益	1,494	8,232
その他	539	880
営業外収益合計	2,469	9,308
営業外費用		
支払利息	2,062	1,458
その他	-	230
営業外費用合計	2,062	1,688
経常利益	139,893	218,713
税金等調整前中間純利益	139,893	218,713
法人税、住民税及び事業税	50,517	86,575
法人税等調整額	△2,005	△11,419
法人税等合計	48,512	75,156
中間純利益	91,381	143,557
非支配株主に帰属する中間純利益	-	-
親会社株主に帰属する中間純利益	91,381	143,557

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	91,381	143,557
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	7,480	△5,209
その他の包括利益合計	7,480	△5,209
中間包括利益	98,861	138,348
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	98,861	138,348
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	139,893	218,713
減価償却費	18,719	21,895
受取利息及び受取配当金	△438	△195
支払利息	2,062	1,458
売上債権の増減額(△は増加)	△9,164	△8,767
棚卸資産の増減額(△は増加)	2,914	119
その他の資産の増減額(△は増加)	△10,352	△3,933
仕入債務の増減額(△は減少)	4,875	3,712
未払金の増減額(△は減少)	23,026	14,802
未払費用の増減額(△は減少)	△5,442	13,534
未払消費税等の増減額(△は減少)	△18,282	△3,175
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,070	1,093
その他の負債の増減額(△は減少)	6,692	32,014
その他	△1,555	△9,403
小計	154,018	281,869
利息及び配当金の受取額	438	195
利息の支払額	△2,062	△1,458
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△85,192	△47,178
営業活動によるキャッシュ・フロー	67,201	233,426
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△17,928	△26,094
無形固定資産の取得による支出	△1,056	△483
敷金の差入による支出	-	△160,863
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,985	△187,441
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△56,598	△127,692
自己株式の取得による支出	-	△98
リース債務の返済による支出	△1,086	△1,380
財務活動によるキャッシュ・フロー	△57,684	△129,170
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,862	4,093
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△605	△79,091
現金及び現金同等物の期首残高	1,562,269	1,517,989
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,561,664	1,438,898

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、デジタルトランスフォーメーション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。